

議事概要	
会議の名称	令和4年度第1回長久手市文化の家運営委員会
開催日時	令和4年6月28日（火）午後6時30分から午後8時まで
開催場所	長久手市文化の家 展示室
出席者氏名 （委員50音順、敬称略）	<p>【委員】 浅野芳夫 安藤隆之 大村真也 梶田美香 川北真紀子 川本達志 鈴木香代子 田中美貴 山口節子</p> <p>【事務局】 くらし文化部長 門前健 生涯学習課長 粕谷庸介 文化の家館長 糴山勝人 課長補佐兼事業係長 生田創 施設係長 山田伸恵 事業係主任 黒野雅直 主任 野田悠子</p>
欠席者	安達彩委員、片野直美委員、安原雅之委員
傍聴者人数	0人
会議公開・非公開	公開
概要	1 あいさつ 2 報告事項 (1) 令和3年度下半期分の管理運営報告 (2) 令和3年度下半期分及び令和4年度（4月・5月分）事業報告 (3) 令和4年度の文化の家運営体制について 3 議題 大規模改修計画（特定天井）について 4 その他

議事録	
18:30	あいさつ (くらし文化部長あいさつ)

事務局	<p>本会議は、過半数の委員が出席しているため、成立していることを報告。ここから議事進行を委員長にお願いする。</p> <p>1 報告事項</p> <p>(1) 令和3年度分の管理運営報告</p>
事務局	<p>(【資料1】に基づき、説明)</p>
委員長	<p>報告に関して、意見・質問等あるか。</p>
委員	<p>2点聞きたい。1点目は、光熱水費について。自身が勤務する劇場で電力エネルギーの入札を行ったところ、従来の1.5倍の金額となり、財政的に逼迫する見込みとなった。そのため、仕込み、撤収時には、空調を控えるようにしている。文化の家はそのような問題はないか？2点目は、施設予約システムについて。施設予約システムはホールも対象なのか。ネット予約では防ぎにくい不正事案があると思うが、状況はどうか。問題は起きていないか。</p>
事務局	<p>光熱水費の増額分については、市全体として補正予算で対応した。劇場としては、使用していない照明や空調等の電源をこまめに切るようにしている。コロナ禍前と比較し、令和3年度の光熱水費は減少している。例外的に12月に増加しているのは、自動ドアの故障により、空調に負担がかかったためである。令和4年度も、減少しているが、引き続きこまめな節電を心がけるようにしたい。</p> <p>ネット予約は、ホールも対象である。対面での抽選申込時よりも、不正が発生しやすくなっているのは確かである。大量に抽選申込を行い、抽選会後にキャンセルする利用者がいる。キャンセル防止のため、第1希望日のみ申込みよう案内している。受講料等を徴収している利用者は、施設使用料が2倍となる規定であるが、遵守されていない場合は、対面、電話等で、是正を求めている。課題は何点かあるが、1つずつ解決している。</p>
事務局	<p>文化の家では、仕込み及び撤収時も空調は入れている。休館日明けは特に熱がこもるため、空調を入れざるを得ない状況である。施設予約システムについて、抽選会時点で団体内容を確認している。内容に不明な部分があれば、活動内容や受講料有無等を団体に問合せしている。</p>

委員	客席等のLED化は検討しているか。
事務局	LED化は大規模改修時に検討する。
	(2) 令和3年度下半期及び令和4年度自主事業報告
事務局	【資料2-1】及び【資料2-2】に基づき、説明)
委員長	報告に関して、意見・質問等あるか。
委員長	福祉的観点の事業が多い印象だが、力を入れているのか。
事務局	ここ数年で、福祉系事業数は大幅に増加している。ふくしであーとも実施している。コロナ禍で施設内に入れなかったため、バルコニーで演奏を行っている。施設内で演奏可能な施設では、施設内演奏会の様子を配信し、利用者家族も一緒に楽しめるような工夫もした。高齢者施設では、コロナ禍で外部の人との交流が少なくなり、入居者の心身機能低下が心配されている。ふくしであーとの取組は、そのような入居者にとって、良い効果をもたらしている。音楽だけではなく、美術分野でも福祉的観点の事業を始めている。
委員長	インクルーシブアート展は物品販売も行ったのか。
事務局	今回は行っていない。作品購入が作家への還元となるという観点もあるが、美術分野はまだ始めたばかりのため、少しずつ広げていきたい。
委員	ふくしであーとについて、具体的にどのような施設に行っているのか教えてほしい。
事務局	(社福)愛知たいようの杜と(有)ハートフルハウスの事業所が多い。
委員	吹奏楽フェスティバルや絵画コンクール等、長年実施してきた事業の再編もしているのか。日東工業がスポンサーとなったのは素晴らしい。今後もスポンサーを増やせるよう頑張ってもらいたい。
事務局	日東工業は、ながくてアートフェスティバルでも実行委員に入る

委員	<p>など、市民が関わる事業に積極的に協力いただいている。</p> <p>美術系創造スタッフが台本を書いたことも素晴らしい。ダニエル・ハリトーフ公演はどのようなものだったのか。</p>
事務局	<p>ダニエル・ハリトーフピアノリサイタルは、提携事業である。感染症対策の水際対策により、外国人アーティストの来日が困難になる中、令和3年度に来日できた唯一のアーティストとなった。</p>
委員	<p>「であと」に事前準備があることを初めて知った。文化の家に行きたい、楽器を弾いてみたいという「であと」を受けた子どもたちの意見があったのが良いと思った。芸術との出会いや種まきは重要なので、大切に続けて欲しい。</p> <p>(3) 令和4年度の文化の家運営体制について</p>
事務局	<p>(【資料3】に基づき、説明)</p>
委員長	<p>昨年度指定管理について協議していたが、生涯学習課と合併となった経緯はどのようなか。</p>
事務局	<p>昨年度協議いただいた、指定管理者制度については、市の方針として、文化の家は市直営施設として運営していくこととなった。指定管理者制度と組織機構改革は別の問題と捉えていただきたい。生涯学習課として、生涯にわたる学びを一つの課として請け負うことになった。</p>
委員	<p>組織機構改革によって、メリットデメリットがあると思うが、そのあたりどのように考えているか。</p>
事務局	<p>スポーツや文化芸術活動等は、欠くことができないのではないかと考えている。組織として、関わりを持たせ、活発化させることで、相乗効果を生むことができるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>予算面で変化はあるか。従来から高い評価を受けている事業の質が下がることを懸念している。そのあたりは、検討された結果であるのか。</p>

事務局	文化の家事業の質を落とすつもりはない。むしろ、文化の家が行っていることが、他の分野により効果をもたらすのではないかと思っている。
委員	予算面は来年度以降どうなるのか。
事務局	組織再編による予算削減は予定していない。
委員	開館当初は年間7,000万円程度の事業費で行っていた。人材が育ったので、予算削減されても同じような事業を継続できたのではないかと。今後にも期待したい。行政改革を行う場合は、10年後の未来を予測し、明示しておくべきである。文化芸術事業に住民参画を取り入れることも継続のための一つの手段となるかも知れない。
委員	文化の家が現状どおり、直営となったのは良かった。利益重視ではないことが重要。直営で運営できる限り、直営でやって行って欲しい。長久手市は大きな企業が1社しかない。名古屋市や豊田市のように多くの企業スポンサーは見込めないだろう。次代の継承ができるのか、心配している。
委員	昔からの住民は、農業の中で生きてきた。急に文化芸術といわれてもついていけない。そのような住民にも配慮がほしい。
委員長	10年後を見据えることは重要である。専門人材の養成も力を入れて行って欲しい。
	<p>2 議題</p> <p>大規模改修計画について</p>
事務局	(【資料4】に基づき、説明)
委員長	説明に関して、意見・質問等あるか。
委員長	休館は1年半に及ぶのか。
事務局	今後設計を行うため、詳細は未定だが、令和6年度1月ごろから11か月程度の休館を予定している。

委員	<p>天井改修の際、設計業者の選定等はどのように考えているか。建設時と異なる業者が設計を行うとかなり難航することが予想される。設計額が安価な業者はあるが、質が担保できるとは限らない。業者選定等は慎重にやらないと、お客様のための改修が台無しになってしまう。客席 LED 化も難しい。メーカーの異なる LED を同時に消灯するのは難しい。バラバラに消灯するホールは評判がよくない。LED 化は省エネにはなるが慎重に検討する必要がある。</p>
委員	<p>建設時の設計業者に依頼するのではないのか。</p>
事務局	<p>設計業者は入札で決める予定。建設時の設計業者になるとは限らない。音響効果が悪化するような設計となると、維持も困難となるため、懸念はしている。</p>
委員	<p>天井改修が必要な条件とはどのようなものか。</p>
事務局	<p>天井高 6 メートル以上、200 m²以上等の条件により、ホールやギャラリー等、文化の家館内の多くの箇所が特定天井に該当する。文化の家館内の特定天井は、建築基準法の改正により、不適格と判定されているため、要改修となっている。その工法も複数あるので基本設計で考えて行きたい。</p>
委員	<p>文化の家のホールは、建設当初に高度な音響設計がされているので、改修は慎重にやってほしい。音が変わってしまっても元に戻せない。</p>
委員	<p>改修予定箇所は、提示されているだけか。風のホールの壁面で頭部をぶつける人をよく見かけるため、可能であれば検討してほしい。</p>
事務局	<p>前回の改修時に設計業者に伝えたが、壁面も音響設計に含まれているので変更は難しいという回答があった。</p>
委員	<p>改修工事中の文化の家の運営はどのようになるのか。全館休館となるか。</p>
事務局	<p>設計次第ではあるが、予算面では、全館休館し同時に改修を行い</p>

	<p>たい。ガレリアの改修があるため、音が出ることを考慮すると全館休館が望ましいと思っている。</p>
<p>委員長</p>	<p>議題は以上である。その他、何か意見等あるか。</p>
<p>委員</p>	<p>文化の家の質の高い事業の多さを知っている市民が少ないことが残念である。もっと広めたい。文化の家を市民が誇りに思ってくれるようなまちになってほしい。独自性が高いことも広く伝わると良い。市民が味方になってくれるとよい。</p>
<p>委員長</p>	<p>長久手市に在住の芸術大学生が文化の家を知らないことも事実である。</p>
<p>委員</p>	<p>市広報誌に文化の家の記事が載らなくなったのはなぜか。広報に載らないと市民は鑑賞の機会を奪われてしまう。広報掲載を検討してほしい。市民の中には、文化の家事業を知れば来たくなる人はたくさんいる。きっかけを減らさないでほしい。</p>
<p>委員長</p>	<p>以上で本日の議事を終了とする。進行を事務局にお返しする。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日の会議は、以上で終了する。</p>